



第14回雇用・就労支援フォーラム

安心して働ける「職場づくり」で社会構築につなげる

特別講演 弊害のない社会づくりに関心を持って

十月十一日、読谷村文化センターにおいて第十四回雇用・就労支援フォーラムが一九五名の参加で行われました。

今回は「障がいがあっても安心して働ける、雇用できる社会」をテーマに開催され、特別講演として砂長美ん氏の「映画にも出た発達障害の女性社長が、障害者だけを雇用しました！」のテーマで講演いただきました。



アトラクション

第1分科会 「自信と自立」が社員のやりがいに繋がる

砂長氏は、留学先のイギリスでディスレクシアという障がいを認定されます。帰国後何度も職種を変えながら仕事してきましたが、自身が料理好きなこともあり弁当屋を起業しました。それがドキュメンタリー映画になり、そこから全国の障がい者施設の商品開発・企画・販売を通してついに国会議員会館内での販

売を行うまでのことをパワフルに話されました。また、神奈川県同友会副代表理事の榎本重秋氏



熱心に聞く参加者

第一分科会では、「社会貢献と自立支援の取り組み」をテーマに、オキナワグランメールリゾート総支配人の川中由仁氏に報告いただきました。現在、四名の障がい者が働くオキナワグランメールリゾートでは、多様な存在を分け隔てなく受け入れ、地域での様々な交流や社会貢献活動を通じて、障がい者の就労支援に携わっています。

雇用にあたっては、半年から一年程度かけて、インターンシップ、トライアル雇用、パート・アルバイトスタッフ、契約社員・社員登用といった

にも「ともに助け、ともに生きる」共生社会に向けた障がい者のための保険会社の挑戦」のテーマで講演いただきました。

障がい者の雇用・就労支援について経験されていない方に少しでも理解していただくため、毎年このフォーラムには一人でも多く参加していただき、日頃気付かないことや多くのことを学び、弊害のない社会づくりに関心を持っていただきたいと思います。（あいエフピー・大浜博文）

第2分科会 「支えあう社会の作り方・働き方」とは

第二分科会では、「働きたいの気持ちをも大切に、働き続けるためのサポートとは」をテーマに、三名の方に報告いただきました。



就労について考える

「働きたい、働き続けたい、ステップアップしたい」就労困難者の就職活動を支援するOne×One・センター長の岡野みゆき氏による事業内容の報告。中部地区を中心に就労困難者を支援する中部地区障害者就業・生活支援センターにじ・施設長の幸地睦子氏による実例や企業の支援体制の報告。（伊波商会・社長の伊波均氏による実際に就労困難者を戦力として採用されている報告をされました。

第3分科会 障がい者雇用は地域そのものの掘り起し

伊波氏は自動販売機の会社ですが、就労困難者の二人が、四〇〇種類程度の飲み物を覚えており、健常者ではなかなか続かない仕分けをするピッキングに長けている事が印象的でした。

岡野氏や幸地氏は、就職困難者は色々なタイプがあり、それぞれの特性を活かす経営の総合実践を行うことが、障がいのある方々も安心して働くことができる社会の構築につながる報告でした。（株）沖縄環境科学研究所・高柳圭吾）

第三分科会では、「すべての人の『働きたい』にこたえる」雇用・就労を支える連携とは」をテーマに、パネルディスカッションを行いました。

読谷村健康福祉部福祉課・課長の知花正氏からは、「広大な農地を持つ

沖縄の一人当たり県民所得と労働生産性

内閣府沖縄総合事務局が今年二月に取りまとめた報告書（平成三十年度沖縄における生産性向上に向けた労働生産性分析調査報告書）によると、内閣府県民経済計算による沖縄県の一人当たり県民所得は、二〇一五年度

で二百六十六万六千円であり、全国平均三百十九万円の約七割で全国最下位です。

他方、沖縄県の労働生産性（県内総生産÷従業員数）は、同年度で六百二十五万円であり、全国平均八百四十八万円の約七割で、こちらも全国最下位です。

このように沖縄県内の労働生産性の低さが一人当たり県民所得の低さに影響を与えているため、賃金や県民所得の向上のために労働生産性を上げ



たそうです。

グループ討論では、「支えあう社会のつくり方・働き方」をテーマに話し合いました。人は十人十色。個性を生かすには、お互いコミュニケーションを取り、働きやすいやりがいのある環境づくりが大切だとまとまりました。（株）普天間商会・普天間直樹）



活発なディスカッション

りました。ぜんち共済（株）社長の榎本重秋氏からは、「同友会では障がい者に問題があるのではなく社会の方に障壁があると捉えています。地域と深い関わりを持つ中小企業の発展は、雇用の創造の面でも、個性ある地域づくりの点でも大きな役割を果たしています。この社会的使命感と責任感こそ大切にしたい」と報告がありました。美咲特別支援学校・進路指導部の仲村まゆみ氏からは、「特別支援学校があることにより、垣根ができ、

ていく必要があると言われています。上記報告書は、労働生産性の向上に向けた方策として、企業レベルでの人的資本投資（教育補助・職業訓練のインセンティブ措置）、IT等の経営効率化のための設備投資（設備投資のインセンティブ措置）、人々のケイパビリティ（潜在能力）の向上のための投資、「雇用の質」の改善（賃金上昇、非正規雇用の正規化インセンティブ措置）などが考えられると指摘しています。

美ら島法律事務所 弁護士 横江崇氏 0908-185313871

第4分科会

チャレンジと工夫で新しい農業の形を追求



鈴木厚志氏

第四分科会では、「農業と福祉のいい関係！」

障がい者雇用から見えてきた農業活性化のヒント

「同友会は、経営指針作成講座と事例発表がスゴいです！」と島袋利信社長の開口一番の発言。

わが社のPOP! 第285回 (株)ライフスタイルテクノロジー 代表取締役 島袋利信氏



島袋利信氏

これまで自分で作成した経営指針は、有名人の言葉を借りてきたもので自分の言葉になっていませんでした。

「一座建立」の精神で常に磨き、出会う人を幸せにする

とで、先輩経営者のアドバイスから客観性がでて、自信がきました。

「仕事柄多くの人と会うため、プロファイリング、心理学、IT、健康、農業等趣味の範囲は広く、探求心や研究心も半端ではないため「勉強貧乏です」とのこと。経営者として



宇根氏の体験報告を聞く参加者

効率化、生産性等で効果を発揮しました。日本の農業が衰退していく中で、企業や農家の皆さんと福祉関連機関が協力体制を築けば、問題

同友会を「知る会」に名護市 北部支部設立30周年キックオフ

十月九日、名桜ボウルにて「同友会ってどんな会?」同友会を「知る会」に名護市(新会員オリエンテーション)が十二名の参加で開催されました。

友寄利津子副代表理事より同友会の歴史と理念・目的を講話頂き、(有)宇根自動車・宇根真一社長より体験報告がありました。

も解決できます。農業に限らずどんな事業にも障がい者雇用は当てはまる事がわかり、充実した分科会でした。(株)O.F.M. 喜友名秀樹

嬉しいことは、お客様に信頼してもらえることやお客様である経営者のストーリーを聴き、経営者の思いに泣きながら仕事をすることもあり、従業員や家族が変わっていくのを見ることなど、しばらく従業員がいない状態ですが、そろそろ雇用の必要性を感じています。

(株)ライフスタイルテクノロジー 代表取締役 島袋利信氏 (浦西支部) 所在地/那覇市金城2-14-10 TEL/098-859-0641

らもらった「一座建立(同じ思いが充実したものを作り出す)」を座右の銘にして、同友会で学び、潰れない会社にしていくこと。よい会社、よい経営者、よい経営環境を目指すしていきます。(社会保険労務士法人 オフィスあるふあ・青山喜佐子)



現在、県内では慢性的な人手不足の状況にあり、また、働き方改革に向けて人手不足の解消や業務効率化に取り組まれている方が多いと思います。

琉球銀行 「人材・生産性向上支援業務」のご紹介

一方で、「どのように取り組めば良いのか分からない」、「どのツール、サービスを利用するか悩んでいる」といったお悩みをお持ちの方も多いためではないでしょうか。

S (Business Support Sheet) によりお客様のビジネスモデルを理解し、お客様と共に課題を把握します。課題の把握にあたっては、必要に応じて業務の棚卸しに関するご相談も承ります。次に、課題に対する適切なソリューション(解決策)を、銀行内外の情報を含めて検討し、お客様のニーズに合ったソリューションをご提案致します。

那覇支部西地区 ビーチパーティー 四地区合同で笑いの絶えない交流を



参加者全員でハイチーズ!!

九月二十八日、恩納村のミッシェンビーチで毎年恒例のビーチパーティーが四地区合同(那覇支部西地区主催)で開催されました。

文進印刷株式会社

本社/〒901-0416 沖縄県島尻郡八重瀬町字宜次706-4 TEL (098) 996-3356(代) FAX (098) 996-3357

- 那覇営業所/〒902-0074 沖縄県那覇市仲井真201番地18 TEL (098) 855-2323 (代) FAX (098) 996-3357
浦添営業所/〒901-2111 沖縄県浦添市経塚811-14 TEL (098) 879-9303 (代) FAX (098) 996-3357
宜野湾営業所/〒901-2214 沖縄県宜野湾市我如古3-11-5 1F TEL (098) 898-1055 (代) FAX (098) 996-3357
沖縄営業所/〒904-2165 沖縄県沖縄市宮里2丁目1番3号 TEL (098) 937-8607 (代) FAX (098) 996-3357
糸満営業所/〒901-0303 沖縄県糸満市字兼城473-10 グレイスコート102 TEL (098) 994-5777 (代) FAX (098) 996-3357
うるま営業所/〒904-2215 沖縄県うるま市志志川みどり町3-19-5 TEL (098) 973-5676 (代) FAX (098) 996-3357



平成19年2月6日、個人情報保護のための仕組みである、JISQ15001:2006(プライバシーマーク認定番号24000306(07))を取得いたしました。

<南部支部会員>

**2019年7-9月期 景況調査の結果について（見解）**

**足下の景況感を示すDIは18期連続プラス超だが後退。先行きもわずかに後退の見通し。消費増税の影響に注視。**

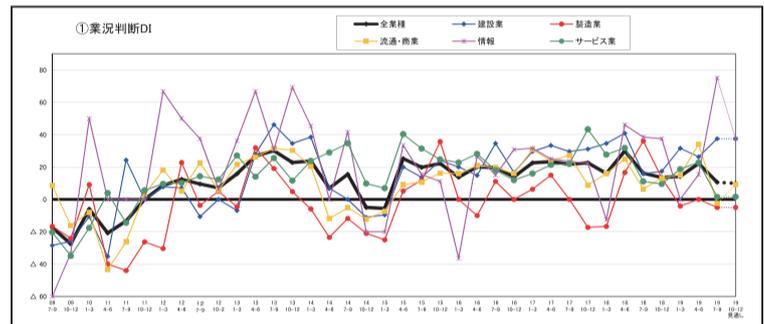
沖縄県中小企業家同友会は、会員企業から抽出した413社を対象に9月2日から9月27日の期間、「7-9月期景況」についてのアンケート調査を実施しました。その結果について見解を發表します。（本文中、特に断りのない限り前年同期比です）

**回答企業**

- (1) 回答企業 164社 回答率 39.7%
- (2) 業種別 ( )は実数
 

製造業	13.4% (22)	建設業	9.8% (16)
流通・商業	26.8% (44)	サービス業	40.2% (66)
情報	9.8% (16)		
- (3) 規模別 従業員数 <正従業員>平均 35名  
<臨時従業員>平均 14名

- ①業況判断は18期連続プラス超だが、前期の改善の見通しとは逆に後退。
- ②売上高DIは後退。サービス業は大幅な悪化でマイナス超に。
- ③経常利益DIは後退。流通・商業とサービス業が大幅な悪化でサービス業はマイナス超に転化。
- ④資金繰りDIは後退だが、サービス業がプラス超に転化し、全業種でプラス超に。
- ⑤経営上の問題点は「人件費の増加」、力点は「新規受注（顧客）の確保」が第1位。
- ⑥全業種の先行きはわずかに後退の見通しだが、流通・商業は改善し、プラス超となる見通し。



時間になると裁判官お二人が現れた。今日は黒いマントを羽織っていないから一安心。そして我々は、裁判官より裁判員制度について、丁寧に説明を受けた。皆、興味津々に質問が止まらな

場所を法廷に移し、黒いマントを羽織り全員で記念撮影。貴重な体験だ。裁判員制度導入から10年。裁判員は審理に立ち合い、有罪か無罪か、裁判官とともに刑を判断していく。今日の学びは深い。もっと学習しなくてはならない。（岩田税理士事務所・岩田進司）



今回は、与那原町にある『洋食屋タロウ』さんにおじゃましました。



瑞慶覧夫妻

**とろけるビーフシチュー**  
「や、やわらかい……」

店主は、瑞慶覧長由さん。フレンチ料理店やバーで修行し、十四年前にお店を開業。洋食屋をやりたいたいから七年間に『洋食屋タロウ』をオープン。店主おススメのビーフシチューをいただきました。や、やわらかい……。お肉の旨みを凝縮しつつ、口の中でとろけるビーフ。なんと表現したらよいのでしょうか。ビーフシチューの隣には、オクラや玉ねぎ、にんじんなどの県産野菜が彩ります。お米は焙煎玄米、パンは国産小麦のフォカッチャ。カレーもオースメのメニューで、ルーを使わずスパイスと素材だけで作られています。



ビーフシチュー

全ての商品に店主のこだわりを感じます。こだわりのデミグラスソースは、スープ作りに二時間、四時間炒めた小麦粉とバターを合わせ、このソースに県産和牛を四々五時間煮込みます。そこに十年間継ぎ足した時間を愛情を注ぎます。音楽好きの瑞慶覧さん。レトロな店内にはピアノがありワインが並びます。

徒歩三分ほどに、姉妹店の『夜のシアトル』もあり、こちらではフレンチおでんと洋食が楽しめます。美味しい洋食とワインが、新しいけど懐かしい空間を演出します。（岩田税理士事務所・岩田進司）

**洋食屋タロウ**  
〈南部支部〉  
すいれん おさよし  
代表 瑞慶覧 長由氏  
所在地/与那原町字与那原601-1 (コーポ楽1F)  
TEL/098-944-0358  
事業内容/飲食 (レストラン)

**広報委員会 裁判員制度学習会**  
**静寂な時間は貴重な体験**

那覇市樋川一丁目、私はいま那覇地方裁判所にいる。そこは静寂な時間を刻んでいた。無論、私

が裁かれたのではありません。同友会メンバー十名とともに、裁判員制度学習会に出頭するためであ



マント羽織って記念撮影

**台風19号被災地への支援金ご協力をお願い**

10月12日に関東に上陸した台風19号の風雨により、特に関東甲信越から東北の広範な地域に被害がでています。会員企業には浸水、停電、土砂崩れなどによる道路の寸断で直接・間接的な被害が出ています。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

同友会会員企業の被害も11県354社（10/16現在）となっており、連日、懸命な復旧作業が続いています。このため、すでに中同協では災害対策本部を設置し、支援金の取り組みがスタートしています。

沖縄同友会では、10月29日の第7回理事会において、会の財源から支援金を送ることとし、個別の支援については中同協に直接送金することを確認しました。会員の皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

**中小企業家同友会全国協議会の取り組み**

＜台風19号災害対策本部の設置＞  
＜役割＞  
1.被災地の同友会と連携し、被害状況を把握し、情報を共有する  
2.国の支援策等の情報提供及び復旧・復興へ向けた施策要望等を現地同友会と協議する  
3.支援金や事務局の人的支援など被災地の要請に応じて対応を検討する

＜支援のお願い＞  
＜支援金＞  
当該同友会及び会員企業の被災の復興へ向けた対応のために、支援金のご協力をお願いします。

金融機関 みずほ銀行 四谷支店  
口座番号 (普通) 0892655  
口座名 中小企業家同友会全国協議会 平田美穂  
\*お送りいただいた支援金は、被災地の同友会へ送金いたします。

**3日間、本腰を入れて立場の変化を強く意識できる!**

一人力 → 二人力 → 三人力

人間力 × 考える力 × 実務能力

自信を持って仲間を引っ張る

自分の立ち位置をつかむ | 人を動かすコミュニケーション | 会社を超えて、同じ立場同士、悩みを聞き合う | 組織を元気にする部下育成をグループで検討

**新任管理者研修**  
【那覇教室】  
中小企業大学校  
ザテラト・ゼミ

研修期間 2020年  
1/29水～31金  
全3日間

定員 15名(先着順) 受講料 29,000円(税込)

会場 那覇商工会議所 (沖縄県那覇市久米2丁目2番10号)

お問い合わせ先  
那覇商工会議所 | 中小企業大学校 人吉校  
TEL:098-868-3758 | TEL:0966-23-6800 (平日9:00~17:30)  
FAX:0966-22-1456

申込書は人吉校ホームページからダウンロードできます。必要事項を記入の上、FAXにてご送信ください。また、人吉校ホームページからはオンラインでのお申込ができます。

人吉校 検索